



皆で声を上げていこう

第八回 北部九州三県合同通院送迎事業研修交流会

八月十日(日)小倉リーセントホテル(北九州市小倉北区)にて、第八回北部九州三県(長崎・佐賀・福岡)合同通院送迎事業研修交流会を、当番担当として「さわやか」が開催しました。

第八回北部九州三県合同通院送迎事業研修交流会が八月十日(日)午前十時より小倉リーセントホテルにて開催されました。

長崎、佐賀、福岡の三県各事業所のスタッフ、コーディネーター、各県腎協の会長、来賓の方々等、総勢三十一名の参加がありました。

「福祉有償運送を展望する」 ・北九州方式での「福祉有償運送」について・

今回は第一部をシンポジウム、第二部を座談会の形式として行われました。同じ移送サービス事業に携わって行くものとして、運営協議会一つを取ってみても、各県、市町村により格差があります。

今回は、北九州市ではどのように運営がされているか、という試みで開会されました。「今までは『福祉有償運送』



シンポジストの方々

を理解する事に重点をおいてきましたが、これからは、さらに発展させ、ボランティアさんや利用者、そして、私たち事業者にとって、より良い体制にするために、私たちが声をあげていかねばなりません」との山田理事長の挨拶からはじまり、長崎県議会副議長の織田様と全腎協副会長の金子智

様のそれぞれの立場からのご挨拶がありました。

第一部のシンポジウムでは、シンポジストに北九州市福祉有償運送運営協議会会長の岡田和敏氏、北九州市保健福祉局のちをつなぐネットワーク推進課課長の松本道博氏、全腎協副会長の金子智氏が、参加されました。「さわやか」から山田理事長が参加し、江頭博幸相談役の司会で始められました。まず、シンポジストの方々の「福祉有償運送」への想いや意義などお話しされました。

お互い理解し
共有していくもの

岡田会長は、「運営協議会はお互いに理解し共有していくものである。これからいろいろの問題点を出し合い、声を上げていくことが大切である」と言われました。

自立が出来るまでは
行政の支援が必要

松本課長は、行政の立場から福祉有償運送の利用状況等を資料に基づき具体的な数字を挙げて報告していただきました。「福祉有償運送自体が、北九州市の中でPR不足などところがあり、民間団体が自

「さわやか」の送迎料改定について

7月4日の北九州市福祉有償運送運営協議会にて、了承され、福岡陸運支局への登録が完了いたしました。8月1日(金)の送迎より、料金の変更を行うこととなりました。

【新料金】
利用会員宅又は病院(乗車地点)を起点とし、目的地(降車地点)を終点とする料金

- 走行1.5kmまで300円
- 走行1.6kmより5kmまで500円
- 以後1kmごとに100円

★「さわやか」への納金について
送迎料300円の方・・・150円×送迎回数
送迎料500円以上の方・・・200円×送迎回数
となります。よろしくお願ひします。

立出来るまでは行政の支援が必要である」と言われました。金子副会長は、全国的な通院送迎の取り組みについて話されました。



三県合同研修会風景



通院対策は
ますます重要な課題

「全腎協の歴史の中で、通院対策は設立当初からの重要な課題であり、今後ますます重要な課題であると述べられました。

山田理事長は、「さわやか」が「福祉有償運送」を始めまでの経緯と、問題点を話しました。

「福祉有償運送」の北九州方式での取り組み方や問題点、今後どのように動いていかねばならないか、など各シンポジストの方々のそれぞれのお立場から、発表していただきました。

また、会場との質疑応答では、活発な意見交換ができた大変意義あるシンポジウムになりました。(第二部は裏面に続きます)



第二部 座談会の風景

「ボランティア」ということについて 原点にかえって考える時期にきた

第一部は、「福祉有償運送について」とことん話そうや!!
と題して座談会方式にて行いました。

第二部の座談会では、「『福祉有償運送』について」とことん話そうや!!というこ
とで、各事業所の報告や問
題点を提起していただき、
皆んなで解決しようとい
うことで山田理事長の司会
が始まりました。

最初に、各県腎協の会長
から挨拶を受けました。
引き続き、各事業所の代
表者の方より通院送迎の状
況報告がありました。

参加者の方々には何らかの
示唆を与えたのでは...

午後からも、行政・運営
協議会・議員・全腎協・県
腎協の方々が参加し、ほ
ぼ全員が発言でき、説得力
のある回答もきちんと出て
参加者の方々には何らかの
示唆を与えたのではないで
しょうか。

生の声を聞いて、
通院送迎の大切さを実感

全腎協の事務局で送迎担
当をされている八木博美さ
んも駆けつけて、全国の通
院送迎の現状について、報
告されました。

また、「さわやか」の送
迎の現場を見ていただき患
者さんやボランティアさん
の生の声を聞いて、通院送
迎の大切さを実感していた
だけだと思います。

「さわやか」が「福祉有償
運送」事業を推進して行く
うえでお世話になっている、

北九州市保健福祉局のち
をつなぐネットワーク推進
課の柴田真行さんも応援に
駆けつけて、各事業所の方
々の質問に答えていました。

皆で声を上げて
要望していきましょう...

ボランティア不足、安全
運転講習の件、提出書類の
煩雑さ等が各事業所共通の
問題点であり、無償とする
のか、否か、など、問題が
出されました。
行政にはこれからも協力
をお願いし、全腎協へも皆
で声を上げて、要望してい
かねばならないと思います。

各県腎協の協力により活動

ほほえみ諫早より

利用者の申し込みが、諫
早市の運営協議会に登録す
る段階で、個人情報保護法
条例違反に該当するような
深刻な問題が実際に発生し
ているとの報告がありました。

その件に関して、岡田会
長と北九州市「福祉有償運送」
の担当者である柴田氏は、
法律に基づき確かなアドバイ
スをされました。

また、長崎県議会議員の
織田長氏も諫早市に対して
問題があるところは是正し
てもらおうように働きかける

バリアフリー新法による
移送問題を考える時代では

これからは、もう一歩進
んで、バリアフリー新法に
よる移送問題を考える時代
ではないでしょうか。

次期開催地、ふれあい代
表の鹿倉一代様より挨拶が
あり、次回また会いましよ
うを合言葉として午後三時
に閉会しました。



と言われました。

患者会との関係について

「ふれあい」の事務局は、
県腎協の事務局の中にあり、
役員も県腎協の役員が兼任し、
協力していると鹿倉代表は
述べました。

長崎県腎協の岩永常務理
事も、県腎協の中に通院支
援事業部を設置し、県内四
ヶ所の「ほほえみ」の事業
所を支援している。

助成金についても、県腎
協で支援の体制をとってい
ると述べました。
「さわやか」については、

三県合同スナップ集



問題が発生した時には、福
腎協の塩屋会長に助言をし
ていただいたり、北九州ブ
ロックの各病院腎友会の幹
事の方々にも協力してい
だいています。

その他、たくさんの意見
交換が行なわれましたが、
紙面の都合上全ては掲載で
きませんでした。

詳細は後日、
当日の議事の内
容を冊子にいた
しますので、ご
希望の方は事務
局までご連絡下
さい。

